

京都大学総合生存学館 レジリエント社会創造研究会



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

主催：京都大学総合生存学館レジリエント社会創造研究会

本研究会は、「人間・社会・自然とレジリエンス（※）の関係性を重視し、レジリエントな人を育て、レジリエントなコミュニティ・組織の仕組みづくりを行い、自然のレジリエンスを守ることを通して、レジリエント社会を創る方法を協働で検討する」ことを目的として、2018年に発足しました。異なる角度から人間・社会・自然の繋がりやレジリエンスの関係性に焦点を当てた研究会をシリーズで開催し、レジリエント社会を創る方法について協働による知を創出していく予定です。その結果を体系化し、SDGs 実施、および京都大学 UNESCO（ユネスコ）チェアの取り組みに活かすことを目指します。

<https://www.gsais.kyoto-u.ac.jp/research#09>

※ここでは「レジリエンス」を広義に捉え、「大きな変化や逆境にあってもしなやかに発展し続ける力」を起点として研究会を進めます。

第6回レジリエント社会創造研究会・ミニワークショップ

「弱者と災害」の現場

～レジリエンスの視点からみる教訓～

日時： 2019年11月14日（木）17:00～18:30

場所： 京都大学東一条館2F 講義室

スピーカー： 湯井 恵美子 氏（防災士。自主防災のエキスパートで、近年各地で発生している地震、洪水災害でも各地を走り回って活躍されている。兵庫県立大学 減災復興政策研究科 博士課程在籍）

定員： 場所の関係上、20名を定員とさせていただきます。先着順。

災害の影響は、高齢者・障害者・子供など弱者に最も大きく及びます。そこに日頃から意識をどのように向けるかによって、現代リスク社会の姿は変わるといっても過言ではありません。現場に常に立っておられる湯井さんのお話を踏まえ、「弱者と災害」の現状はどうか、レジリエンスの視点からみてどのような教訓が引き出せるか、さらにどのような今後のアクションに繋がられるかを、参加者全員で検討したいと思います。

対象： 本テーマに関心のある、大学院生・大学生・社会人・一般、どなたでも参加できます。

登録方法： 参加希望の方は事前の登録が必要です。登録用アドレス（kyotouniversity123@gmail.com）に、

1：お名前

2：ご所属

を記入の上、お送りください。

協力：レジリエンスイニシアティブ